メキシコ地震支援

カネパッケージ株式会社

【メキシコ地震支援活動】

＜日時＞メキシコ時間：9月30日（日本時間：10月1日）
＜場所＞メキシコ合衆国モラロス州フォフトラ市（震源から30Km)
＜参加者＞カネパッケージ現地従業員6名、
フィリピン従業員6名、日本人従業員4名　合計16名
＜活動＞
・毛布100枚
・マットレス100枚
・幼児、学童用文房具及び玩具100人分　（子供の心のケア）
上記避難所及び支援物資供給拠点（サカテペック技術大学）及び瓦礫のため道路が閉鎖され、支援節が届かない地区に人海戦術で持参。

当社メキシコの現地社員とフィリピン人社員と日本人社員の16人のチームと共に、今回のメキシコ地震で被害の大きかった地区モラロス州フォフトラ市に救援物資を寄付した。

メキシコ時間9月30日午前2時に当社メキシコ工場を出発。約300Km離れたモラロス州フォフトラ市に向かう。同市は、震源地から僅か30Kmで、地震の被害が大きく、現地政府からの支援がほとんど届いてない。毛布100枚、マットレス100枚、幼児及び学童用知育玩具と文具を運んだ。特に瓦礫が散乱して、車が入らず、支援物資が行き届いていない地域を中心に一軒一軒人海戦術で配布した。また、避難所及び支援物資供給拠点であるサカテペック技術大学にも寄付。

同フォフトラ市は、サトウキビの栽培が盛んで、製糖工場を有する。町のシンボルである製糖工場の煙突も地震の為、上部が12m倒壊し、作業していた従業員25名がなくなっている。モラレス州全体の被害は、正確には把握できていないが200名弱。その内75名がフォフトラ市。ライフラインの電気と水は現在は普及しているが、古い家が多く、多くの家屋が倒壊の恐れがある為、避難を余儀なくされている。市役所も大きく損壊し、市の職員も無くなっており、行政の機能が麻痺している状態。地元市民団体と各地からのボランティアで、やっと支援物資の配給及び道路上の瓦礫の整理が始まったところ。

今後も、お世話になっている当社が進出している国に何らかの形で恩返しをしていきたい。

損壊した市役所

倒壊した自宅の前の木陰で過ごしていた少女

上部12mが損壊した町のシンボルの
製糖工場の煙突

各地から寄せられる支援物資に
応援のメッセージ